

## (記載例)

○○年 ○月 ○○日

こども家庭府長官 殿

本報告は、研究代表者及び研究分担者の全員が対象です。報告の対象となる研究者ごとに、当該研究者が所属する機関の長が作成して下さい。

→ 所属研究機関長 職名 学長

氏名 こども 太郎

次の職員の（元号） 年度こども家庭科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業

2. 研究課題名 ○○のための研究

3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学研究科 教授

(氏名・フリガナ) 研究 次郎 (ケンキュウ ジロウ)

例えば3年研究の初年度は研究の計画や実施可能性の検証のための研究であり、初年度は遵守すべき倫理指針に該当しない場合は、該当性の有無については「無」にチェックしてください。次年度以降研究が実施され遵守すべき倫理指針に該当する場合は、次年度の実績報告書において該当性の有無について「有」にチェックして下さい。

(指針の名称: )

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会クリークを記入すること  
 (※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。  
 (※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

## 5. こども家庭分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 ■ 未受講 □
-------------	------------

## 6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 ■ 無 □ (無の場合はその理由: )
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 ■ 無 □ (無の場合は委託先機関: )
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 ■ 無 □ (無の場合はその理由: )
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 □ 無 ■ (有の場合はその内容: )

(留意事項) •該当する□にチェックを入れること。  
 •分担研究者の所属する機関の長も作成すること。